

2002 年大垣水害浸水エリアにおける水害防備施策と土地利用計画の実態調査

東京大学 学生会員 ○小野田 恵一

東京大学 フェロー会員 家田 仁

1. 背景・目的

2002 年 6 号台風と梅雨前線の影響により、岐阜県西濃地区では同年 7 月 9 日夜半から 10 日にかけて記録的豪雨が発生、岐阜県大垣市西部を流れる揖斐川水系大谷川では、右岸に存置されていた越流堤（図-1 中①）から溢水を生じ、同市荒崎地区で浸水被害を生じた。これに対し、従来も本越流堤からの溢水による被害が頻発していたにもかかわらず、十分な治水施策がなされてこなかったことは河川管理上の瑕疵であるとして、同地区住民が河川管理者である岐阜県を提訴するに至っている¹⁾。このような事態が生じた背景には、地区の水害防備施策・地形条件と開発・土地利用計画の不整合がその一因であると考えられる。

2. 目的

そこで本研究では、大垣市荒崎地区における浸水対策の実態を現地調査するとともに、同地区の土地利用計画と照合し、両者の不整合の実態を解明し、被災に至った経緯を分析した。

3. 対象地区の特徴

岐阜県大垣市は、揖斐川を始め同川の支川が多数流れ、その水害防備のため古くから輪中堤が築かれ、大垣市のほぼ全域に輪中集落が展開している²⁾。一方で、本水害で被災した荒崎地区は、比較的近年に市街地対岸側に開発された地域であり、輪中堤がない集落もあり、また前述の通り同地区を流れる大谷川右岸には、かつて大垣市街地を水害から守るために設置された越流堤が残されており、浸水被害の温床となっていた。本研究では、訴訟の争点となっている越流堤と被害が大きかった島町付近（図-1 中②～③）を対象とした。

4. 分析の手法

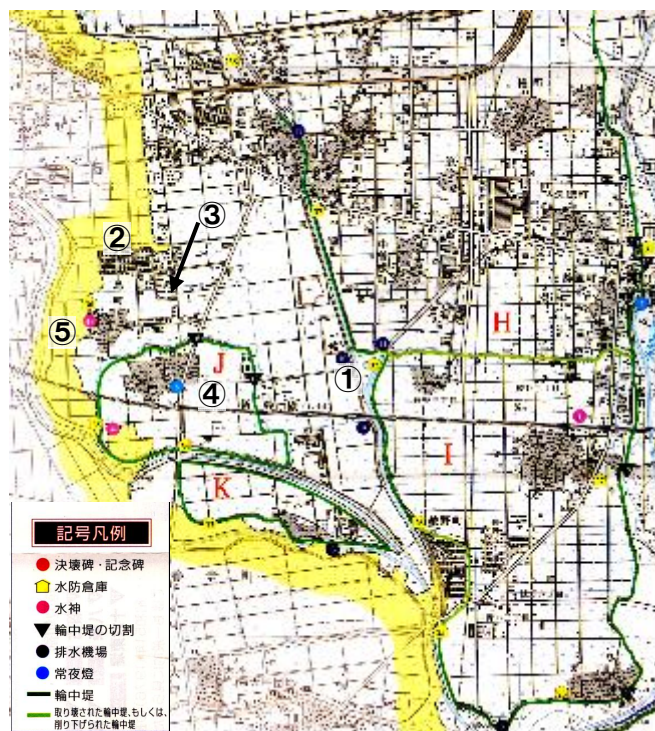
まず対象地域の水害防備施策と開発の経緯を文献資料及び現地踏査、水害訴訟原告団へのヒアリングから明らかにする。ついで、土地条件図と浸水実績図から同地区内での浸水危険性分布を推定する。さらに、大

垣市都市計画図から土地利用計画を確認し、水害防備対策の観点から見た計画の妥当性を検証する。

5. 対象地域における開発経緯と被災実態

荒崎地区においては、古くから大谷川右岸にも輪中堤を築いた十六町輪中集落（図-1 中④）が存在していた。同集落は輪中堤に加え、同堤を横切る道路に陸間があり、今回の出水においてもその防備策の結果被害が少なかった³⁾。また、輪中堤が存在しないものの、地元で通称「本村」と呼ばれる旧来の集落（図-1 中⑤）では、盛土など各戸対策により浸水被害は比較的軽かったと言われている。一方で、被害が大きかった島町の新しい集落は、1968 年大垣市住宅供給公社は同地区に宅地分譲を行い入居が進んだ（島住宅、図-1 中②）。1971 年には市街化調整区域（島住宅は既存宅地として存置）したものの、1973 年には島町県営住宅（荒崎団地、図-1 中③）が建築された。さらに 1975 年 12 月に同新集落付近は市街化区域指定の告示がされ、以降急速に宅地化が進行した。

2002 年水害での浸水区域は、図-2 に示される通りであり、上述の十六町輪中での被害軽減と、島住宅・

図-1：大垣市荒崎地区輪中分布状況²⁾

キーワード 越流堤 大垣水害 土地利用計画
連絡先 〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻
TEL：03-5841-6118

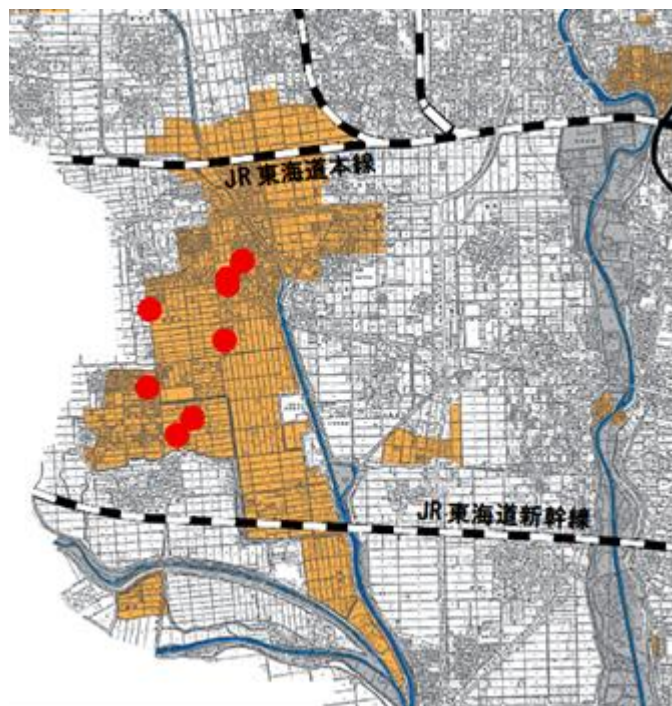


図-2：2002年大垣水害浸水実績図⁴⁾（着色部が浸水）

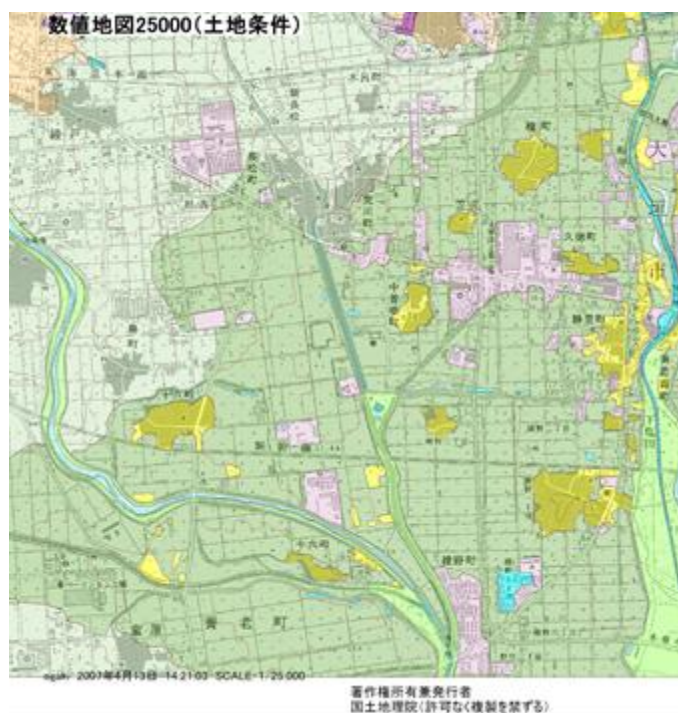


図-3：大垣市荒崎地区輪中分布状況⁵⁾
（黄色：自然堤防，黄緑色：氾濫原，紫色：盛土）

荒崎団地での被害が大きかったことが確認できる。また十六町輪中集落については、その輪中内においても相対的に標高が高い自然堤防上のみに宅地化が進行していることが土地条件図（図-3）から確認できる。

6. 土地利用計画上の問題とまとめ

既述の経緯を踏まえ、都市計画図（図-4）を確認すると、輪中堤がない新興市街地である島住宅や荒崎団



図-4：大垣市荒崎地区土地利用計画⁶⁾

地付近一帯も市街化区域に指定されていることが分かる。これは溢水・湛水の恐れがある地域を市街化区域指定してはならないとする都市計画法施行令に反するものであり、浸水被害対策と土地利用計画の十分な整合がなされているとは考え難い。他方で、一様に市街化区域されているにも係らず、十六町輪中内では自然堤防上のみに宅地化が留まっていることは大変興味深い。これら開発の進行・抑制に影響した要因や市の開発方針については、さらに詳細な分析が必要であると考えている。

謝辞

本研究の現地調査に当たっては、荒崎水害訴訟原告団殿、並びに西濃法律事務所殿に大変お世話になった。末筆ながらここで深い感謝の意を申し上げる。

参考文献

- 1) 荒崎水害訴訟原告団：荒崎水害訴訟はなにを求めているのか～水害のないまちづくりのために～，2005
- 2) 国土交通省 国土技術政策総合研究所 危機管理技術センター 水害研究室：台風 6 号による岐阜県大垣市の水害，2002（災害報告 HP，<http://www.nilim.go.jp/japanese/saigai/h14taihu06/oogaki.pdf>）
- 3) 大垣市教育委員会：大垣市輪中ガイドマップ，1997
- 4) 大垣市役所：大垣市 洪水ハザードマップ，2004
- 5) 国土地理院：数値地図 25000（土地条件）西日本（CD-ROM，大垣），2006
- 6) 大垣市役所：都市計画総括図，2003